

沖縄におけるこどもと大人の目指すべき関わり方について
こどもが大人に伝えたいこと
～「こども・若者の意見表明」より～



沖縄県こども未来部
こども若者政策課



沖縄県こども・若者計画策定に向けた意見表明

こども基本法

(こども施策に対するこども等の意見の反映)

第11条 国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

①令和6年度にこども計画を策定するにあたり、こども・若者、保護者等から意見を聴取

<webアンケート等：6,054人>

- 幼稚園児（4～5歳）17人 ○小学生（5、6年生）375人 ○中学生（1～3年生）697人
- 高校生（公立・私立・通信1～3年生）176人 ○若者（18歳以上29歳以下）726人
- 保護者3,978人 ○配慮が必要なこども・若者（12歳～39歳、11施設・支援団体）64人 その他21人

②大学生ファシリテーターによるモデル事業

<フィールドワーク等：487人>

- 大学生（モデル事業に参画）51人 ○幼稚園～大学生（フィールドワークで意見表明）436人

県内2大学の授業を活用し、大学生による意見表明を実施

県と協働でこどもたちの社会参画、意見表明の場づくりに取り組んでもらった。



大学生にはフィールドワークにより、自ら地域の児童館やこどもの居場所などに出向いて、こどもたちの意見表明、社会参画の場づくりを実施し、こどもたちの声をプレゼン形式により届けてもらった。

沖縄県こども・若者計画の概要 (未来のおきなわっこプラン)

第1章

計画の策定にあたって

○策定趣旨 ○基本理念 ○基本方針 ○計画期間 等

第2章

こども・若者を取り巻く現状と課題

人口、子育て環境、こどもの貧困等の現状と課題

第3章

こども施策に関する重要施策

- ライフステージを通じた（別の）重要施策：約100施策
- 子育て当事者への支援に関する重要施策
- 最重要課題の解消に向けた施策（こどもの貧困対策）

第4章

子ども・子育て支援事業支援計画

教育・保育量の見込み、提供体制確保、実施時期等

第5章

こども施策を推進するために必要な事項

こども・若者の社会参画・意見反映 等

第6章

こども・若者計画に関する指標

「こどもまんなか社会」の実現に向けた指標：9
こども・若者、子育て当事者の状況等を把握する指標：89

第7章

個別施策集

施策	こどもの 貧困対策	少子化 対策	子ども・若者 育成支援	子ども・子育て 支援
△△策	○	○	-	○

<基本理念>

社会の一番の宝である沖縄のこどもたちが生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現を目指す。

<こどもの貧困対策>

3つの柱で施策を強化

- ①ライフステージに応じた施策の充実強化
- ②貧困の連鎖を断つための自立に向けた支援
- ③支援につながっていないこどもとその保護者・家庭への支援体制の構築

<こども・若者の社会参画・意見反映>

- ・社会参画の促進・意見表明の機会充実
- ・多様な声を施策に反映させる環境整備
- ・社会参画・意見反映を支える人材の育成 等

こども・若者からいただいた意見の紹介（一部）

こども・若者からの意見

《みんなの意見マーク》

 こども・若者等からの意見を反映した項目を明記

計画に反映したところ

理解と一緒に考えてくれると
うれしい（小学生）


話を最後まで聞いて、意見を尊重
して欲しい（中学生）


大人の意見や価値観を押し付けない
で欲しい（高校生、大学生）


こどもを1人の人として扱って
欲しい。こどもだからって下に
見ないで欲しい（配慮）


いろんな人がやりたいことが
できるような社会になって欲
しい（小学生）


演劇をする機会が欲しい（高校生）


体を動かす事が好きなのでスポーツや
運動できる環境（施設ジム）があれば
良い（配慮）


◆第1章 2 基本理念

「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現
～「沖縄の目指す社会」～


I すべてのこどもたちが権利の主体として尊重され、こどもの最善の利益が優先されるとともに、こどもが意見を表明し、その意見が尊重され、社会に参画する機会が確保される「こどもまんなか社会」
(略)

◆第3章 1-(1)

こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等
こども・若者は、心身の発達の過程にあっても、生まれながらに権利の主体です。こどもまんなか社会の実現に向けては、こども・若者を、多様な人格を持った個として尊重し、その権利を保障し、こども・若者の今とこれからにとっての最善の利益を図る必要があります。そのためには、(略)


◆第3章 1 ライフステージを通した重要施策

(2) ア 遊びや体験活動の推進

健やかな成長につながる、多様な遊びや体験活動の機会・場を創出するため、次に掲げる施策を推進します。


(略) 福祉教育や、地域の自然環境、歴史、伝統文化、芸術に触れる体験活動、ボランティア活動、スポーツ活動等を推進するほか、学校・地域における自然体験学習や読書活動等の多様な学習活動の充実に取り組みます。

沖縄県こども・若者計画に基づく新たな施策①

(こども・若者計画推進事業)

事業目的

計画に基づくこども施策の推進を図るため、
第3章に定める「こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有」を図るための普及啓発や、
第5章に定める「こども・若者の意見表明や社会参画の機会づくり」の充実を図り、
気運の醸成に取り組むための事業を実施する。

ファシリテーター 養成事業

こども・若者の意見表明を応援
するファシリテーターを養成し、
必要な知識と学びの場を提供

- ①大学生ファシリテーター募集
- ②集合型講座
 - ・こどもの意見聴取とは
 - ・ファシリテーターに必要なスキルフィールドワーク・振り返り
- ③ワークショップ&成果報告会



こども・若者 モニター事業

こども・若者がアンケートを通して意見
を表明できる仕組みの構築

- ①こども・若者モニター募集・登録
- ②沖縄県から意見を伝えて欲しいアンケートをモニターに送付
- ③アンケートで得た意見・アイデアを県政に取り入れる。



こどもの権利 普及啓発事業

こどもの権利を普及啓発し、こ
どもの権利について、県民及び
社会全体の理解促進を図る。

- ①メディアを活用した普及啓発
- ②「こどもの権利週間」(11/17～11/23)におけるイベント等
- ③広報・広告媒体の製作・配付
- ④学校や関係機関を対象とした、出張授業・研修の実施
- ⑤広報活動の効果検証のためのアンケート実施

沖縄県こども・若者計画に基づく新たな施策② (こども・若者体験事業)

事業目的

地域や成育環境によって格差が生じないように配慮しつつ、こども・若者に多様な体験の機会を提供し、こども・若者の健やかな成長及び自立に向けた支援を行う。

令和7年度は戦後80年という節目にあたるため、こども・若者が沖縄戦について学ぶ舞台を開催するとともに、平和を希求する「沖縄のこころ」をアート、音楽、舞台等で表現するワークショップを開催する。

戦後80周年祈念（舞台） 「生きているから～対馬丸ものがたり～」

- 体験機会の少ないこども・若者に観劇の機会等を提供
- ワークショップに参加したこども・若者等に舞台当日、ボランティア体験をしてもらう。



①日時：令和7年8月16日（土）
8月17日（日）

②場所：那覇文化芸術劇場「なはと」

連動

ワークショップ (アート、音楽、舞台等)

- 学校、児童館等でアート、音楽、演劇、舞台美術等をテーマとしたワークショップを開催
- 製作した楽曲や舞台美術を本番の舞台でも活用

<アート>



<舞台演劇>



<音楽制作>



<演劇>



<舞台美術>



こどもの意見表明 (小・中・高・大学生まとめ)

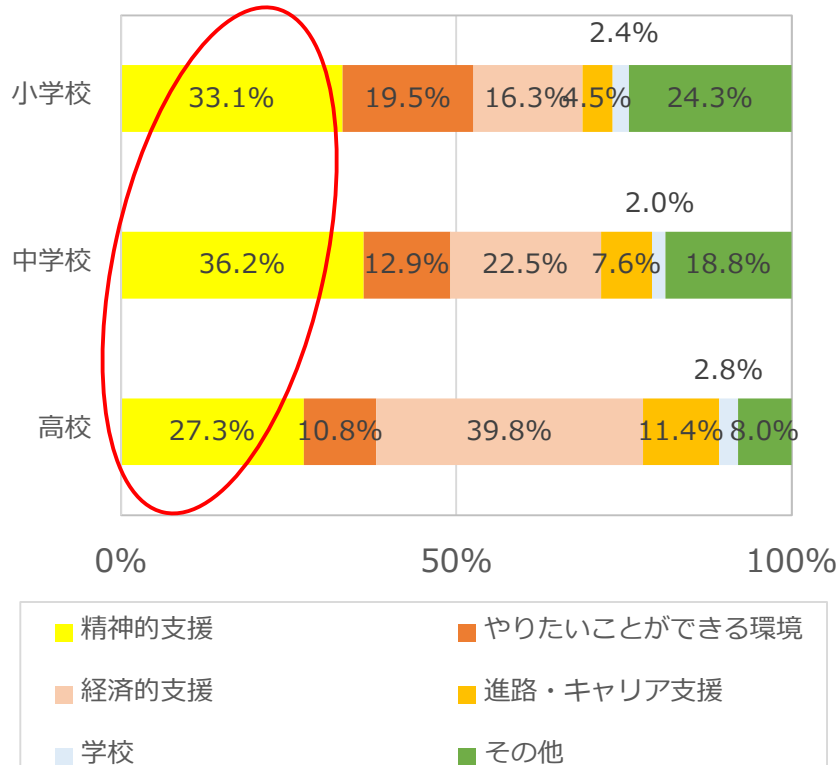
<一部抜粋>

令和6年11月
沖縄県こども未来部こども若者政策課

問 夢にむかってがんばるあなたに、どんな応援（支援）があったらうれしいですか

【ポイント】

- ✓ 小・中・高ともに、精神的支援を求める声が多い
- ✓ 年代が上がるとともに、経済的支援を求める声が多くなっている



精神的支援

- (共)自分のことを理解して応援してほしい
- (共)否定せず、認めてほしい。見守ってほしい
- (共)こどもの意見を聞いてほしい
- (共)自分の事を褒めて欲しい
- (小)失敗したり諦めようとしたときに助けてくれる人
- (小)間違ったら違うよって教えてくれる人
- (中)優しく相談事を聞いてくれる人
- (高)自分を理解して、厳しく指導してくれる人
- (大)一緒にやってくれる仲間

やりたいことができる環境

- (共)勉強に集中できる場所
- 勉強を教えてくれる人
- (小)スポーツやダンスなどの練習場所
- (小・中)こどもが楽しく利用できる場所や施設
- (小・中)リラックスできる、一人になれる場所
- (中・高)意見を発表す機会、若者会議の開催
- (高)沖縄だからこその外国人との交流
- (高)たくさんの人との関わり、成長できる場
- (大)資格取得のための無料講座
- (大)欲しい情報がもらえる

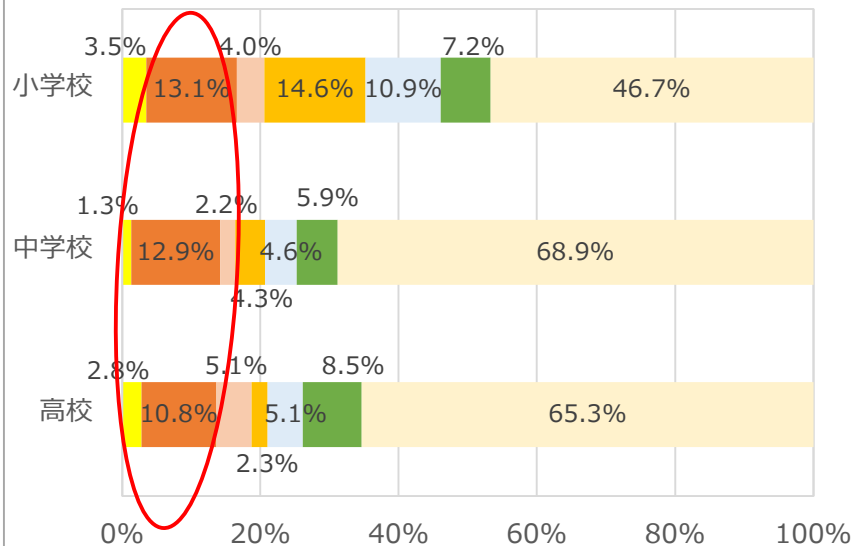
経済的支援

- (共)進学のための奨学金、進学費用の援助
- (共)授業料の無償化、資格試験、受験費用の補助
- (小)教科書やノートの購入費、給食費の支援
- (中)塾の費用、長期休暇時の電気代、昼食代の補助
- (小・中)本島・県外の大会へ行くときの費用
- (高)留学のための奨学金、就職のための給付金
- (大)生活資金・交通費の支援
- (大)大学生の学割の増加や最低賃金のUP

問 その他、おとなに伝えたいことや自分が思っていることがあれば、自由に書いてください

【ポイント】

- ✓ 小・中・高ともに、「大人への要望・不満」が多い
- ✓ 小学校は、「暮らしの環境」・「学校・教育」が多い



大人への要望・不満

- (共) こどもの話を最後まで聞いて、意見を尊重してほしい、こどものことを理解して、信じてほしい
- (共) 大人の意見や価値観を押し付けしないでほしい
- (小) こどもの権利を知って、大人と子供の立場を同じにしてほしい
- (中) ダメと言うだけでなく理由を説明してほしい
- (中) イラついててもこどもにあたらなくてほしい
- (高) もっと若者に厳しくしてほしい
- (大) 若者の夢を応援してほしい、否定しないでほしい
- (大) 若者がやっている活動に協力してほしい

暮らしの環境

- (小・中) ゴミを道や海に捨てないで
- (小) 離島にも大学が欲しい
- (中) 地域のこどもが無料で乗れるバス

学校・教育

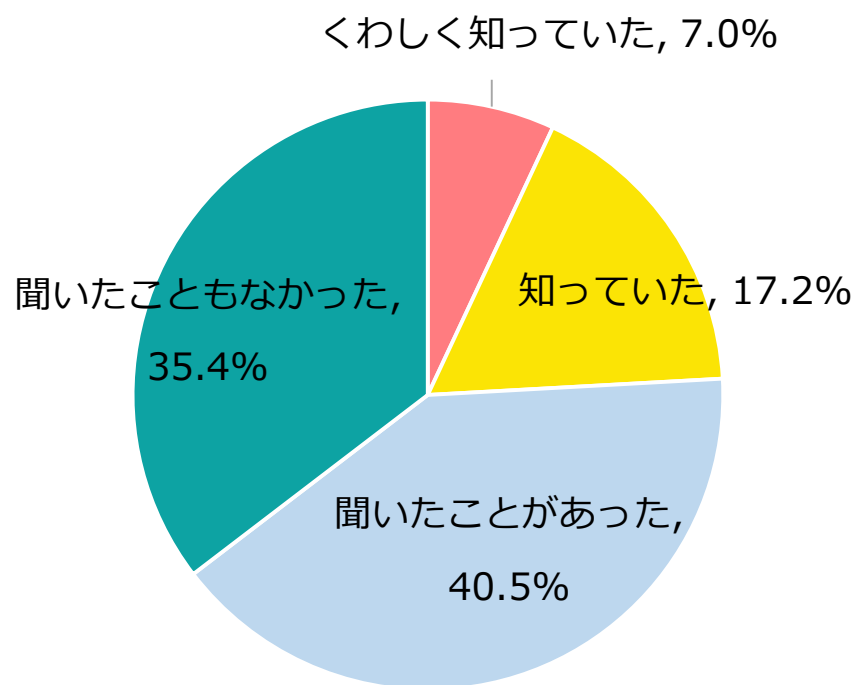
- (小・中・高) 理由が説明できない校則は無くしてほしい
- (小) いじめに悩む人や不登校の人も学校に行きやすくなる環境を作してほしい
- (中) もっと生徒の意見に耳を傾けてほしい
- (高) 進路や悩みを気軽に相談できるようにして
- (大) 小・中学校の時から、県外進学、就職、留学などの話を聞く機会や情報がほしい

社会・制度

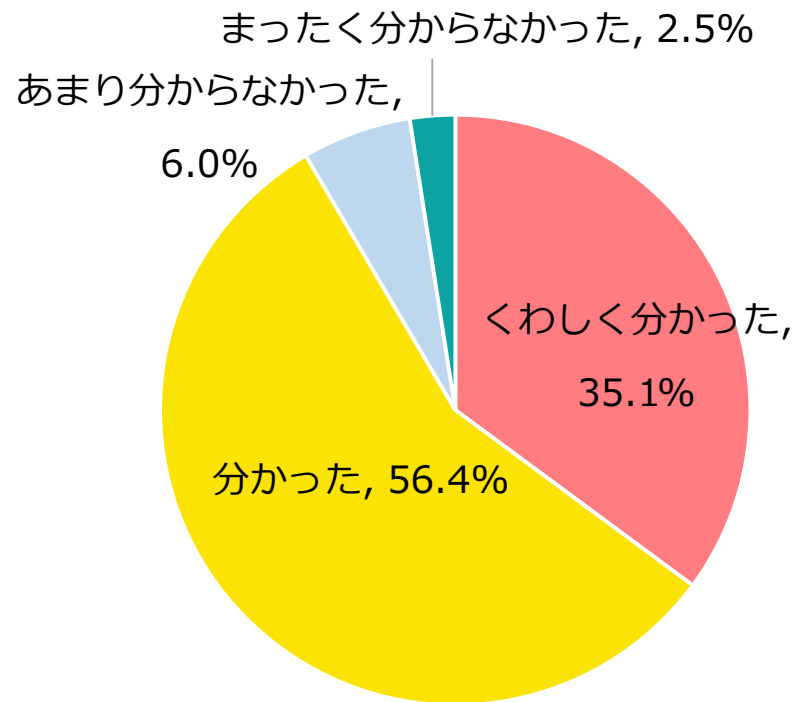
- (小) こどもが自由に使える公共施設（児童館等）を増やして欲しい
- (中) こどもが安心できる社会を作してほしい
- (中) 物価を下げ税金を減らし生活に余裕ある社会
- (高) 教育現場にもっとお金をかけて欲しい
- (高) 外的要因で自分の夢を諦めなくてもいい社会

問 「子どもの権利」について

問 あなたは今回、動画をみる前から「子どもの権利」について知っていましたか（n=1136）



問 「子どもの権利」について、説明動画をみたり、アンケートに答えることで分かるようになりましたか（n=1136）



<ご参考>

「沖縄県こども・若者計画」及び「こども・若者等の意見」

沖縄県こども・若者計画 (未来のおきなわっこプラン)



<https://www.pref.okinawa.lg.jp/kyoiku/kosodate/1008254/1034356.html>

沖縄県こども・若者計画策定に係る こども・若者等の意見反映について



<https://www.pref.okinawa.lg.jp/kyoiku/kosodate/1008254/1033469.html>